1977 年 12 月 3 日第三種郵便物認可（毎月 1・2・3・5・6・7 の日発行）2013 年 9 月 2 日発行 SSKP 増刊通巻第 5492 号

ＳＳＫＰ　はれのちくもり

賛助会 通 信　第 65 号

はじめに

創設からの継承に取り組み始めています･･･

＊61号でお伝えした「次の組織作りへの取り組み」の続編です

今思い返すと、平成 18 年に当時の「障害者自立支援法」が施行された事は、棕櫚亭のメンバー・職員それぞれに大きな変化をもたらしたと言えるでしょう。国立事業所は就労支援のピアスを始め比較的機能が分かりやすく、移行先を決めやすかったのですが、立川事業所は小規模通所授産施設が 2 つあったので、通う場所にするのか・就労支援の場所にするのか、法人内でずいぶん議論をしました。その結果、立川には作業所機能（いわゆる作業を主体としたB型事業）を残さないという方針に伴い、棕櫚亭Ⅱ・Ⅲのメンバーは、「自分が次の 3～5 年をどのように生活していきたいのか」を考え、半年以上かけて次に利用するサービスを選んでいきました。当時立川に現場兼務の本部職員として配置されていた私たちは、時代が、そして棕櫚亭が変わっていくのだ、その決定に自分が携わるのだということをまざまざと実感したのを覚えています。

一方で、「施設」から「事業者」への道を歩み始めた私達は、事業者としての大きな試練の道が待っていました。何人利用者がいても同じ補助金をもらっていた時代から、実際に利用した方にのみ支払われる個別給付が総予算の 50％以上を占める状況で法人を経営していかなければならなくなったのです。これまでの「授産に追いまわされないサービス」「全てのサービスを棕櫚亭で提供しきらない＝色々なサービスも含めた地域を創造していく」という理念と40 人弱の職員の雇用の両方を守るというあっという間の 6 年間でした。その間、一人づつ創設世代が退職し、私達次世代と呼ばれる 4 人が一人づつ経営本部に参加し始めていきました。今は、創設者の一人である天野理事長に私達 4 人を加えた 5 人の経営本部体制で、法人の人事や事業運営についての組織決定を行っています。

この 24 年度末までの 6 年間で、棕櫚亭は旧精神保健福祉法上のサービスを全て事業移行し終わり、これまで手をつけられないでいた職員給与表改正にも取り組む事が出来ました。しかし一方で、私達 4 人は各事業の移行後のサービス維持にもかなりの割合を割くこととなりました。また、事務局長や統括経理・施設長など、分担した経営本部での役割は担っていても、天野理事長ありきの下でのチームであった事は否めません。

遅まきながらですが、これから迎える組織継承へ向けて、覚悟を持ちながら臨み始めています。メンバーに対する関わりとはまた違う、組織を経営していく上での 4 人それぞれの持ち味や、チームワークを作っていくべく話し合いを進めています。若くやる気のある棕櫚亭の職員集団がついてきてくれるような、そして一緒に棕櫚亭を大きく発展させいけるようなリーダーシップを発揮できるように、理事長から叱咤激励をもらいながら頑張っていきたいと思っています。

＜経営本部メンバー＞　山地圭子・荒木浩・小林由美子・高橋しのぶ（文責）

1977 年 12 月 3 日第三種郵便物認可（毎月 1・2・3・5・6・7 の日発行）2013 年 9 月 2 日発行 SSKP 増刊通巻第 5492 号

医療機関と連携した
精神障碍者の就労支援モデル事業を受託いたしました

厚生労働省が精神障碍者の就労を進めていく事を目的に、平成２５年度の単年度事業として、上記の事業を委託しています。

棕櫚亭では１６年間就労支援を行ってきた経験から、精神障碍者の就労支援には病状の安定は不可欠で、そのために医療機関とご本人、支援者とのやり取り、医師の疎通を図ることが絶対に大切だと感じています。しかし主治医が就労について無知・無関心であったり、否定的であったり、『医療は治療をするところ』という固定的な観念と出会ったり、無責任に『本人が言うから』と信頼性のない診断書を出していたり、精神障害者が就労していく上で医療との付き合いが難しくあることも事実でした。

障害者雇用が進んでいく流れの中で、この現状を打破するために以前からピアス見学や、就労支援機関についての紹介などの医療機関に対し就労支援についての研修などを行ってきました。医療従事者の方からも『地域の資源について理解できた』『当事者の意見を聞けることができたのは参考になった』とご好評いただいた反面、医療機関全体の意識を変えるという事までにはいたっていないことが課題と考えています。

７月１日に厚生労働省と契約をし、正式に事業の受託をいたしました。今年度は医療法人社団碧水会長谷川病院、東京都立多摩総合医療センターに協力お願いして、より突っ込んだ連携が出来ればと思っております。

どのようなことが出来たかを今後の『はれのちくもり』でご報告できればと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

社会福祉法人多摩棕櫚亭協会　事業担当　吉本

棕櫚亭Ｉの絵画展が行われました

毎年恒例の絵画展を、レストラン トゥリニテにて実施いたしました。『個性が光る絵画の世界 ―きらめく心を絵にのせて―』をテーマに、棕櫚亭Ｉのメンバーによって描かれた力作たちがならび、お店のお客様にもたいへんご好評いただきました。

1977 年 12 月 3 日第三種郵便物認可（毎月 1・2・3・5・6・7 の日発行）2013 年 9 月 2 日発行 SSKP 増刊通巻第 5492 号

新しい職員が入職しました

ピアス　矢崎詩織

４月からピアスに配属となりました矢崎詩織と申します。ピアスでは厨房を担当させて頂き、メンバーさんと共に日々奮闘しています。メンバーさんも職員の方々も温かく迎えて下さり、多くのことを学ばせて頂きながら充実した日々を送っています。まだまだ未熟でご迷惑をおかけしますが、一生懸命頑張っていきたいと思います。

ピアス　小川真里恵

6 月から棕櫚亭に再就職させて頂いた小川真里恵と申します。「私、京都に行きます！」そう言い放って棕櫚亭を退職して 2 年…まさか自分でもこんなに早く東京に帰ってくることになるとは思ってもいませんでした。全くの個人的な都合（結婚）で退職させて頂き、当時の職員にもメンバーさんにも関係者の皆様にもとてもご迷惑をお掛けしたにも関わらず、またこうして棕櫚亭で働かせて頂くことができるとは夢にも思っていませんでした。今回、東京に帰って来るということも全く棕櫚亭の方にはお知らせしていなかったのですが、その決意をした 1 週間後くらいに棕櫚亭からお電話を頂いて戻って来て働く気はないか、とお声を掛けて頂いたのには本当に驚きました。以心伝心というか、逃れられない運命（笑）というか…不思議な縁を感じながらお引受けいたしました。今後は東京を永住の地にしようと思っていますので、2 度目の退職はないと思います…いえ、ないです！こんな身勝手な私をまた快く迎え入れてくださった皆さんに感謝しつつ、日々精一杯がんばって行きたいと思います。フレッシュではない新人ですが今後ともどうぞよろしくお願い致します。

各施設からのお知らせ

■なびぃ　夏に実施した、なびぃ主催のバザーを、ご好評につき秋にも実施予定です！お楽しみに。

■棕櫚亭 I

棕櫚亭 I では、この先も楽しいイベントを企画したり、参加をする予定です。

8/30（金）「くにたち温泉湯楽の里」への遠足、9/27（金）昭和記念公園にてバーベキュー開催、

10 月には、他作業所や地域の高齢者の方々などとの「ふれあいスポーツ」に参加します。

11/4（月・祝）には、毎年恒例の市民祭に参加します。

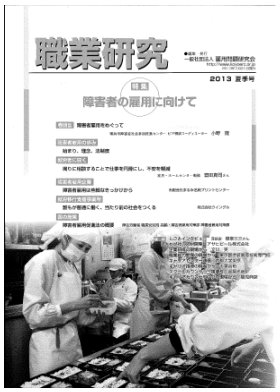
今年も大学通りにて出店しますので、ぜひ遊びにいらしてください。

1977 年 12 月 3 日第三種郵便物認可（毎月 1・2・3・5・6・7 の日発行）2013 年 9 月 2 日発行 SSKP 増刊通巻第 5492 号

賛助会費ご支援のお願い

平成 24 年度も、会費のご協力をいただきましてありがとうございました。
今月号にて、平成 25 年度**賛助会振込用紙**を同封させて頂きました。
お手数ではございますが、賛助会費 **2000 円**を当口座にお振り込みいただければ幸いです。
今後も、ご支援のほど何卒よろしくお願いいたします。

記事掲載のお知らせ



◆『職業研究』
　一般社団法人　雇用問題研究会 編集・発行
「特集：障害者の雇用に向けて」内の記事にて就労者のインタビューが掲載されています。
◆『働く広場』
　独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構事務局発行
「精神障害と雇用」特集内の巻頭にて、天野理事長のインタビューが掲載されています。
◆『東京手をつなぐ親たち』
「特集　発達障害をめぐって」内にて、ピアス施設長・高橋の記事が掲載されています。

「レストラン トゥリニテ営業中です

ピアス利用者の実習場所となっている**「レストラン トゥリニテ」**は、
月曜～木曜のお昼時に営業しております。
手作りの味を、ゆっくり味わっていただけます。
現場で働く利用者さんにも、ぜひ会いにいらしてください。
ランチ（味噌汁＆お飲物付）：670 円　　お持ち帰り弁当：560 円
営業日：月曜日～木曜日（定休日：金・土・日）
営業時間：11：30～15：00（14：00 ラストオーダー、売切れ次第終了）
住所：　立川市錦町 1-14-16
JR 中央線 立川駅徒歩 12 分、JR 南武線 西国立駅徒歩 10 分
電話番号：042-528-3438
（完売の場合もございますので、事前にお電話でご来店の予約をお勧めします）

ある日のメニュー例：
鶏の彩り炒め、夏おでん、しめじと青菜のごま和え

その他、最新情報につきましては、棕櫚亭協会のホームページ（http://shuro.jp/）をご覧ください。

【編集】　国立市富士見台 1－17－4 ピアス内
はれのちくもり編集委員会　　Tel　042-575-5911
【発行】　特定非営利活動法人　　障害者団体定期刊行物協会
〒157-0073　世田谷区砧 6－26－21
Tel　03-3416-1698　【定価】100 円